

2022年度年末手当を考える②

物価高騰↑ 賃金削減↓により

社員の生活は限界の状況だ!

【各企業等の値上げ状況(10月から 6700品目が値上げ!)】

大塚食品	キッコーマン
飲料製品18品目、レトルトカレー12品目など 1.3%～19% 値上げ	焼き肉のたれ、しょうゆなど34品目、 みりん、料理酒など41品目、4%～11% 値上げ
伊藤ハム	明治
ハム・ソーセージおよび加工食品221品目 3%～30% 値上げ	家庭用チーズ、菓子類 5%～15% 値上げ、または内容量減少
日本ハム	麒麟ビール
ハム・ソーセージなど78品目、加工食品125品目など 2%～34% 値上げ	ビール類、酎ハイサワー類、ノンアルコール飲料など 値上げ
キューピー	アサヒ飲料
家庭用マヨネーズ類、パスタソースなど93品目 2%～20% 値上げ	ペットボトル、ボトル缶、缶飲料など 4%～16% 値上げ
岩谷産業	スシロー
カセットボンベ 15% カセットコンロ 5%～20% 値上げ	回転すし価格が10円～30円値上げ 黄血110円、赤血180円、黒血360円に
日本郵便	電気料金
郵便料金の割引率と特殊取扱量、手数料が改訂 本人限定受取郵便料が105円から210円へ	既に価格転嫁できる制度の上限に達し、 過去最も高い水準
ガス料金	たばこ
液化天然ガス等の高騰により、21年5月以降 ほぼ毎月値上げ	たばこ増税で1箱10円～20円値上げ

(Yahoo! ニュースより抜粋)

この2年半

実質賃金

は大幅に

**下がり続けて
います**



昨年からの物価の高騰と一時金の削減などにより、私たちの生活は厳しくなるばかりです。電気、ガス、石油の値上げにとどまらず、食料品、外食産業など全てのものが値上がりし続け、10月からは更に6700品目以上が値上げとなっています。

社員の生活を守ることが、企業の役目でもあり、それが会社の持続的な発展に結びつくことになります。会社は、今こそ「人への投資」をするべきなのです。

社員の生活を守るのも企業の責任!

生活を守る3.0ヶ月+5万円を!